

2026年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 2 月 4 日  
東

上 場 会 社 名 株式会社ぐるなび 上場取引所  
コ ー ド 番 号 2440 URL <https://corporate.gnavi.co.jp/>  
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 杉原 章郎  
問合せ先責任者 （役職名） 専務執行役員 （氏名） 山田 晃久 （TEL） 03－6744－6463  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 3 月期第 3 四半期の連結業績（2025年 4 月 1 日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	9,979	5.2	249	△58.9	236	△60.9	262	△62.1
2025年 3 月期第 3 四半期	9,488	6.8	607	—	603	555.2	692	—

（注）包括利益 2026年 3 月期第 3 四半期 290百万円（△51.3％） 2025年 3 月期第 3 四半期 596百万円（ —％）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期第 3 四半期	4.64	4.64
2025年 3 月期第 3 四半期	10.83	10.82

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	11,462	5,267	45.6
2025年 3 月期	11,128	4,978	44.3

（参考）自己資本 2026年 3 月期第 3 四半期 5,229百万円 2025年 3 月期 4,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年 3 月期	—	0.00	—		
2026年 3 月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3 月期の連結業績予想（2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,900	10.7	300	14.3	210	△19.7	234	10.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	56,903,800株	2025年3月期	56,903,800株
2026年3月期3Q	520,662株	2025年3月期	501,462株
2026年3月期3Q	56,401,357株	2025年3月期3Q	56,441,774株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 2026年3月期3Qの期末自己株式数は、他人名義所有株式12,000株を含んでおります。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(収益認識関係) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられたものの、全体として緩やかな回復基調が続きました。当社サービスの対象である外食産業においては、前年同期と比較し消費者の外食支出が増加傾向にあり、客数及び客単価双方の上昇により飲食店の売上も増加しましたが、一方で原材料価格の高騰や人材不足等、経営環境には厳しさもみられています。

当社は前期、中期事業方針（2024年3月期から2026年3月期）に掲げる2年目での黒字転換を果たし、コロナ禍以降のコスト抑制による赤字縮小フェーズから売上拡大による利益拡大フェーズへと移行いたしました。この利益拡大のペースを中長期にわたって加速し企業価値の拡大へとつなげるべく、当期においては、当社独自の強みである「サポート力」を最大限に発揮できる飲食店支援事業への注力を基本方針としており、具体的には「楽天ぐるなびの強化」「マーケティングエージェントの拡大」、そしてこれらの推進力や実効性を高める「商品造成力の向上」に重点的に取り組むこととしております。

当第3四半期連結累計期間の各施策の取り組みは以下のとおりです。

「楽天ぐるなびの強化」については、サイト利用者の拡大及び利便性の向上を図るため、低迷していた有料加盟店舗数及びネット予約対応店舗数の拡大を重要指標と位置付け営業活動に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期末のストック型有料加盟店舗数は34,300店舗（前年同期末比1.5%増）、ネット予約対応店舗数は3.6万店舗（前年同期末比3.0%増）となり、共に増加基調への転換を果たしました。また、楽天ID連携会員による当社サイトの積極的な利用を通じたネット予約送客力の向上を目的として、楽天カード株式会社が楽天カード会員に対し多様な特典を提供する「楽天カードプレミアムプログラム」と当社のユーザー会員向けロイヤリティプログラム「幹事ランク制度」との連携を10月より開始いたしました。

「マーケティングエージェントの拡大」については、Google ビジネスプロフィール（GBP）へのクーポン情報の提供や、訪日外国人向けショート動画の作成支援等の新サービスを開始し、サービスラインナップの拡充を図っております。特にGBPの運用支援においては、サービスの利用店舗数が増加基調であることに加え、前期に実施した商品刷新の効果により平均利用単価も前年同期比で上昇しております。

「商品造成力の向上」については、営業・企画・開発の連携を一層強化したことに加え、前期に本格始動した「ぐるなびNextプロジェクト」の下、生成AIによる業務の生産性や創造性の向上を通じ、商品造成サイクル「創って、作って、売る。」の精度向上を図っております。

加えてこれらの取り組みを加速し、今後の売上拡大に向けた体制を強化するため、重点施策に携わる営業、企画、運用の人員増強も実施しております。

その他、日本の食文化を守り育てる取り組みとして、日本料理界の未来を担う若手料理人の発掘・支援を目的とした料理人コンペティション「RED U-35」を10月に開催したほか、優れた日本の食文化を保護・継承することを目的とした「今年の一皿」において2025年は「お米グルメ」を選定し、12月に発表を行いました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は9,979百万円（前年同期比5.2%増）となりました。事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

（単位：千円）

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年同期比 増減率
基盤事業	飲食店販促サービス			
	ストック型サービス	6,765,404	7,324,994	+8.3%
	スポット型サービス	1,018,462	899,593	△11.7%
	小計	7,783,867	8,224,587	+5.7%
	プロモーション	760,032	757,367	△0.4%
	小計	8,543,899	8,981,955	+5.1%
	関連事業	944,909	997,814	+5.6%
	合計	9,488,808	9,979,769	+5.2%

ストック型サービスについては、ARPU（1店舗あたり契約高）の伸長に加え、上述のストック型有料加盟店舗数の増加が寄与し、前年同期比8.3%増となりました。一方、スポット型サービスについては、上期の営業活動においてストック型での受注を重視したこと、またネット予約手数料売上が前年同期を下回ったことにより、前年同期比減収となりました。この結果、飲食店販促サービス全体では前年同期比5.7%増となりました。

プロモーションについては、省庁・自治体や食関連企業からの売上を中心に前年同期と同水準での着地となりました。

関連事業については、2024年4月に開店した厨房機器販売店「テンポスぐるなび」の売上伸長が牽引し前年同期比5.6%増となりました。

費用については、上述の人員増強に伴う労務費及び人件費、採用費の増加に加え、ソフトウェアの増加に伴う減価償却費、売上拡大に伴う原価の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、営業利益は249百万円（前年同期比58.9%減）、経常利益は236百万円（前年同期比60.9%減）となりました。なお、特別利益に投資有価証券売却益30百万円を計上したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円（前年同期比62.1%減）となりました。当第3四半期連結累計期間の各利益については、上述の人員増強をはじめとする成長投資や減価償却費の増加等により前年同期比で減益となりましたが、2025年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に対しては、営業利益の進捗率が83%に達するなど、順調に進捗しております。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が現金及び預金を主因に前連結会計年度末より390百万円減少した一方、固定資産がソフトウェアの積み上がりを主因に同723百万円増加したことから、同333百万円増加し11,462百万円となりました。

負債は、2025年2月に調達した短期借入金を長期借入金に借り換えたことから、流動負債が前連結会計年度末より1,119百万円減少した一方、固定負債が同1,163百万円増加し、合計では同43百万円増加の6,194百万円となっております。

純資産については、主に親会社株主に帰属する四半期純利益262百万円により、前連結会計年度末より289百万円増加し5,267百万円となりました。

なお財務面での取り組みとして、前連結会計年度において黒字転換を果たしたことを踏まえ、上述の借り換えのほか、2024年9月に設定したコミットメントライン3,000百万円についてアンコミットメントラインへの変更を実施いたしました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産	11,128	11,462	+333
負債	6,150	6,194	+43
純資産	4,978	5,267	+289
自己資本比率	44.3%	45.6%	+1.3pt

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,042,128	3,942,335
受取手形及び売掛金	2,452,445	2,387,961
仕掛品	3,578	342,868
未収入金	797,070	1,050,134
その他	417,884	578,868
貸倒引当金	△68,604	△48,132
流動資産合計	8,644,503	8,254,035
固定資産		
有形固定資産	491,757	492,651
無形固定資産	983,150	1,695,097
投資その他の資産	1,009,496	1,020,349
固定資産合計	2,484,404	3,208,098
資産合計	11,128,907	11,462,134
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,950	188,959
短期借入金	1,200,000	-
未払法人税等	5,275	3,164
賞与引当金	443,317	168,147
ポイント引当金	7,607	11,384
事業構造改善引当金	47,190	-
未払金	1,450,679	1,400,616
資産除去債務	15,634	-
その他	347,848	755,734
流動負債合計	3,647,504	2,528,006
固定負債		
長期借入金	2,200,000	3,351,001
資産除去債務	221,598	222,646
その他	81,793	93,052
固定負債合計	2,503,392	3,666,700
負債合計	6,150,897	6,194,706
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,529,704	5,502,562
利益剰余金	230,160	492,415
自己株式	△1,088,584	△1,048,858
株主資本合計	4,771,280	5,046,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,352	121,861
為替換算調整勘定	66,031	61,651
その他の包括利益累計額合計	155,384	183,513
新株予約権	18,770	4,968
非支配株主持分	32,575	32,826
純資産合計	4,978,010	5,267,427
負債純資産合計	11,128,907	11,462,134

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,488,808	9,979,769
売上原価	3,158,686	3,911,168
売上総利益	6,330,122	6,068,601
販売費及び一般管理費	5,722,978	5,819,214
営業利益	607,143	249,386
営業外収益		
受取配当金	5,000	7,000
違約金収入	11,553	4,384
その他	28,864	41,039
営業外収益合計	45,417	52,423
営業外費用		
支払利息	17,046	54,834
株式報酬費用	23,470	6,239
その他	8,991	4,705
営業外費用合計	49,508	65,779
経常利益	603,052	236,030
特別利益		
投資有価証券売却益	157,399	30,555
その他	6,494	1,236
特別利益合計	163,893	31,791
特別損失		
事業構造改善費用	52,816	-
その他	896	-
特別損失合計	53,712	-
税金等調整前四半期純利益	713,232	267,822
法人税等	20,478	4,156
四半期純利益	692,754	263,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	692,754	262,254

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	692,754	263,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,470	32,508
為替換算調整勘定	7,702	△5,540
その他の包括利益合計	△95,767	26,968
四半期包括利益	596,987	290,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,987	290,383
非支配株主に係る四半期包括利益	-	250



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、飲食店販促支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、飲食店販促支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	167,761千円	403,146千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
飲食店販促サービス(ストック型サービス)	6,765,404	7,324,994
飲食店販促サービス(スポット型サービス)	1,018,462	899,593
プロモーション	760,032	757,367
関連事業	944,909	997,814
顧客との契約から生じる収益	9,488,808	9,979,769
外部顧客への売上高	9,488,808	9,979,769